

施策に対する市民満足度の推移

各施策に対する回答を、満足度(満足100、やや満足75、やや不満25、不満0)として点数化し、全回答者の平均値を算出しています。満足度は100に近いほど高く、0に近いほど低くなります。

その結果、最も満足度が高い分野は「各種検診や健康相談など健康づくりの推進」の64.45でした。続いて、「消防・救急体制の充実」が61.46となりました。

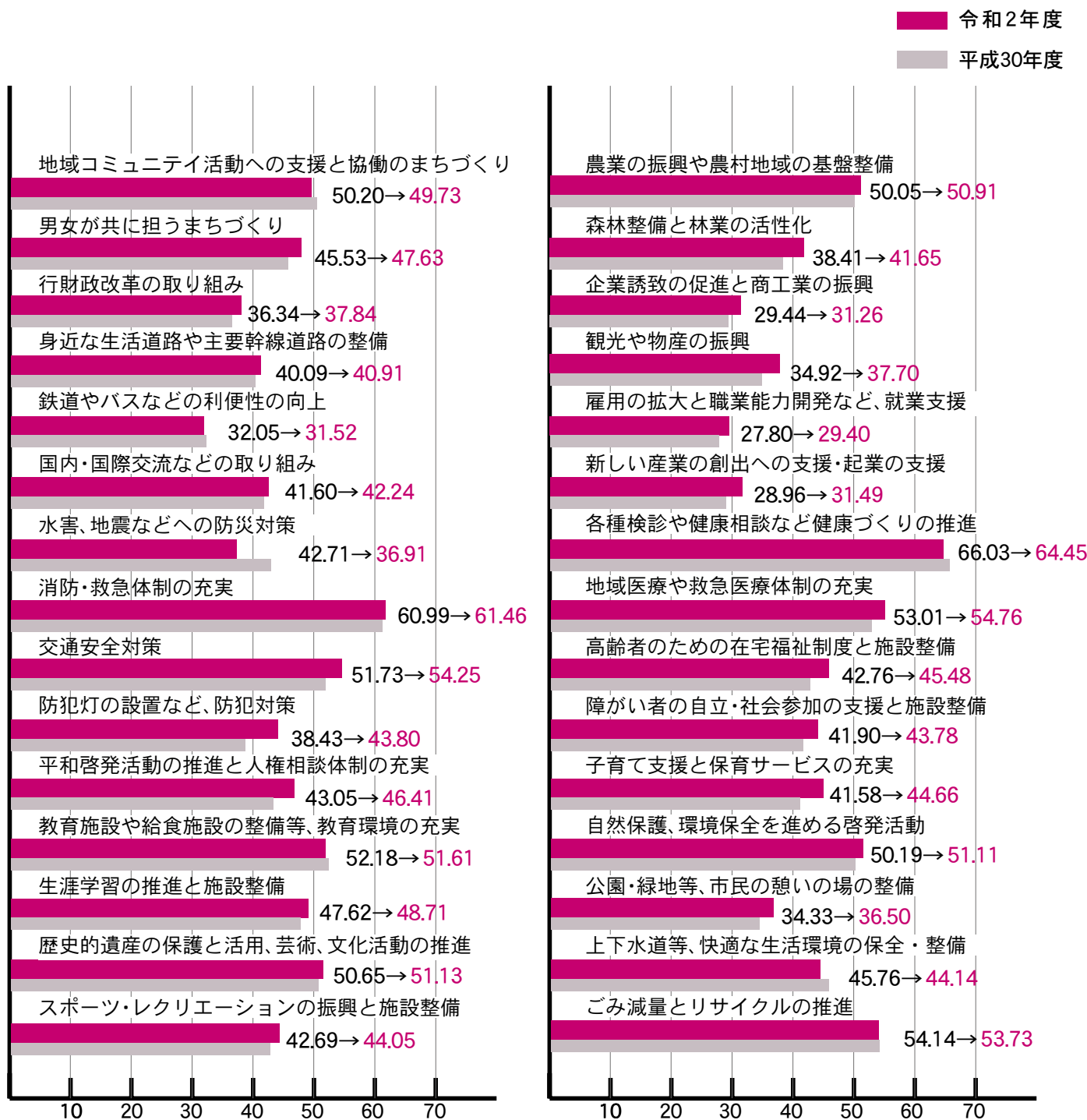
また、満足度が低かったものは、「新しい産業の創出への支援・起業の支援」が31.49、「雇用の拡大と職

業能力開発など、就業支援」が29.40となりました。

全体として、前回平成30年度の市民意識調査の結果と比較すると、市民の満足度が向上しています。

そのような中で、特に満足度が高くなった項目は「防犯灯の設置など、防犯対策」で5.37増加、「平和啓発活動の推進と人権相談体制の充実」で3.36増加、「森林整備と林業の活性化」で3.24増加となりました。

全項目の満足度の結果と、前回の意識調査の比較は以下のとおりです。



施策に対する市民満足度(平成30年度・令和2年度市民意識調査比較)

あなたが考える、“おおさき”のまちづくり

大崎市総合計画

市民意識調査の結果報告 ～より良い大崎市をつくるために～

令和2年7月、住民基本台帳から無作為抽出された市民5,000人を対象に、市民意識調査を行いました。主な調査結果を紹介します。

政策課政策企画担当 ☎ 23-2129

■調査の概要

対象
満15歳以上の市民5,000人

調査期間
令和2年6月30日から
令和2年7月27日まで

抽出方法
住民基本台帳から無作為抽出

調査方法
郵送による調査表の配布・回収

回収結果
調査票配布数5,000件のうち
有効回収数1,981件
(有効回収率39.6%)

市では、総合計画に掲げる将来像「宝の都(くに)・大崎くずつとおおさき・いつかはおおさき」の実現に向けて、まちづくりを進めています。

市民意識調査は、市民の皆さんが、市政に対してどのような意見を持っているか、今後の市政運営において何を重要と考えているのかなどを把握し、施策への反映を図ることを目的に実施しています。

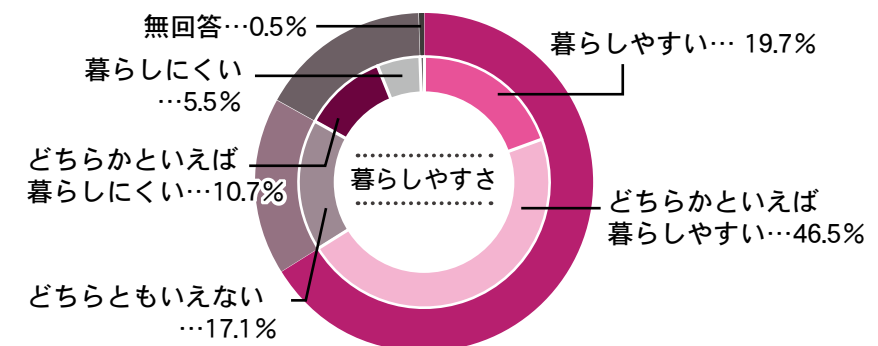
今回の意識調査結果から、主だったものを紹介します。詳細は、市ウェブサイト(<http://www.city.osaki.miyagi.jp>)に掲載しています。

調査にご協力いただいた市民の皆さん、ありがとうございます。

大崎市の暮らしやすさはどうですか？

暮らしやすい・どちらかといえば暮らしやすい …66.2%

暮らしにくい・どちらかといえば暮らしにくい …16.2%



▲大崎市の暮らしやすさについての質問では、「どちらかといえば暮らしやすい」と答えた人が46.5%と最も多く、次いで「暮らしやすい」が19.7%、「どちらともいえない」が17.1%の順となりました。

「暮らしやすい」と「どちらかといえば暮らしやすい」をあわせた暮らしやすさを感じている人は、半数を超える結果となっています。また、前回調査(平成30年度)と比較し、7.5%の増加となりました。

■回答者の性別

性別	人数	構成比
男性	860人	43.4%
女性	1,085人	54.8%
無回答	36人	1.8%
合計	1,981人	100.0%

■回答者の年齢

年齢別	人数	構成比
10歳代	82人	4.1%
20歳代	112人	5.7%
30歳代	239人	12.1%
40歳代	278人	14.0%
50歳代	307人	15.5%
60歳代	526人	26.6%
70歳代以上	380人	19.2%
無回答	57人	2.9%
合計	1,981人	100.0%

※構成比は四捨五入のため合計があわないことがあります。